

みずほCustomer Desk Report 2022/01/06号(As of 2022/01/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	116.23
TKY 9:00AM	116.18	1.1283	131.08	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	116.24	1.1346	131.60	1.3530	0.7240
SYD-NY Low	115.63	1.1277	130.85	1.3599	0.7273
NY 5:00 PM	116.11	1.1311	131.37	1.3523	0.7216
				1.3556	0.7222

NY DOW	36,407.11	▲ 392.54	日本2年債	-0.0900	0.00bp
NASDAQ	15,100.17	▲ 522.54	日本10年債	0.0800	0.00bp
S&P	4,700.58	▲ 92.96	米国2年債	0.8286	6.97bp
日経平均	29,332.16	30.37	米国5年債	1.4252	6.55bp
TOPIX	2,039.27	9.05	米国10年債	1.6990	5.09bp
シカゴ日経先物	29,045.00	▲ 280.00	独10年債	-0.1260	0.55bp
ロンドンFT	7,516.87	11.72	英10年債	1.0855	0.00bp
DAX	16,271.75	119.14	豪10年債	1.7590	1.60bp
ハンセン指数	22,907.25	▲ 382.59	USDJPY 1M Vol	5.70	▲0.20%
上海総合	3,595.18	▲ 37.15	USDJPY 3M Vol	5.96	▲0.17%
NY金	1,825.10	10.50	USDJPY 6M Vol	6.18	▲0.16%
WTI	77.85	0.86	USDJPY 1M 25RR	-0.30	Yen Call Over
CRB指数	236.710	1.21	EURJPY 3M Vol	6.26	▲0.11%
ドルインデックス	96.17	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	6.69	▲0.11%

東京	東京時間のドル円は116.18レベルでオープン。北朝鮮のミサイル発射報道があるも相場に対する影響は限定的となった。仲値にかけて116.24まで買われるも、ドルの急上昇を受けた実需の売りフローや短期筋による利益確定の売りに押され、一時115.91まで反落し、116.02レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は116.02レベルでオープン。12月ADP全米雇用報告を控え様子見ムードの中、アジア時間の流れを引き継ぎ、ポジション調整にドルが売られ115.79レベルでNY渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は5、10日絡みのドル買いに116.24まで上昇するが、短期筋の利益確定の売り等に115.63まで反落し、115.79レベルでNYオープン。朝方は米12月ADP雇用統計が大幅に予想を上回ったことから、週末の雇用統計に対する期待から115.93まで戻すが、戻り売りに115.68まで反落する。しかしその後は米金利が上昇するなか116.04まで戻す。注目のFOMC議事録では、「ほとんどの参加者が労働市場の改善が継続すれば、早期利上げが可能と予想」、「数人(Some)はバランスシートが前回よりも速いペースで縮小される可能性を指摘」、「数人(Some)は正常化の過程で大幅なバランスシートの縮小が適切と指摘」等、タカ派な内容となったことから先物に見る3/16のFOMCでの利上げ予想が75%以上となり、ドル円は116.18まで上昇する。その後は早期利上げ期待を嫌気し、株式市場が軟化する展開にクロス円の売りが強まり、ドル円は116.03まで下落。終盤に掛けては閑散な推移が続き、116.11レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でドル売りが優勢となったことから1.1325まで戻し、1.1309レベルでNYオープン。朝方はADP雇用統計結果を受けやや売りが強まるものの、ユーロ円の買いにサポートされ1.1346まで戻す。午後はFOMC議事録を受け、米金利が上昇する動きを受けたドル買いや、株式市場が大幅に下落する展開にユーロ円の売りが強まり、ユーロドルは1.1303まで反落し、1.1311レベルでクロスした。

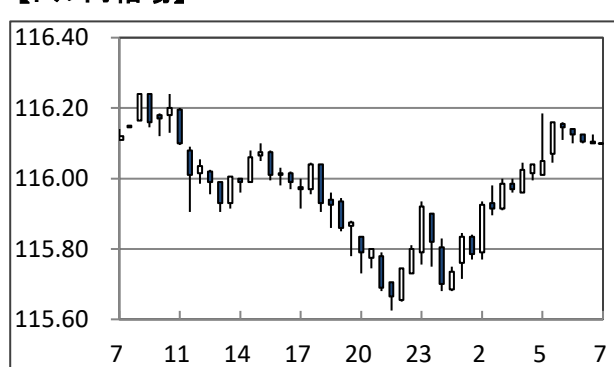
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月5日	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)確報	12月 48.7/49.9	48.4/50.0
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 807k	410k
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)確報	12月 57.6/57.0	57.5/-
1月6日	04:00	米 FOMC議事要旨	従来の想定より速いペースの利上げが妥当	

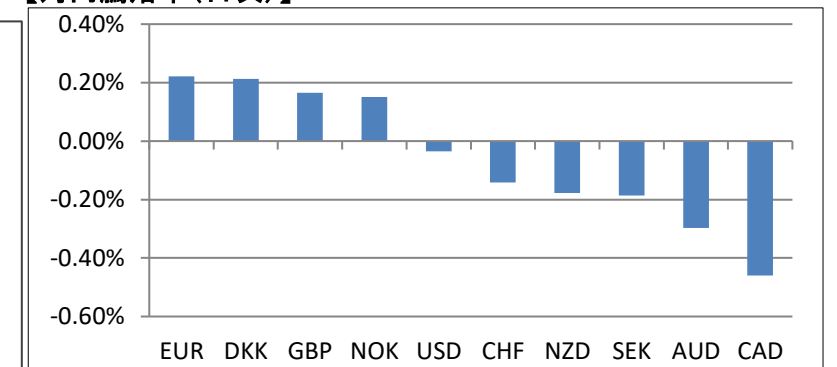
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月6日	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	11月 2.3%/-1.1%	-6.9%/-1.0%
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)確報	12月 53.2/53.2	53.2/53.2
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 1.3%/22.9%	5.4%/21.9%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)	12月 0.4%/5.1%	-0.2%/5.2%
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$81.0b	-\$67.1b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Jan 195k	198k
1月7日	00:00	米 製造業受注(前月比)	11月 1.5%/1.1%	1%/1.6%
	01:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	03:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.40-116.50	1.1250-1.1350	130.50-131.70

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下に行って来いの展開。本邦勢も本格的に休暇明けとなる中、ドル売り優勢となり116円を割り込み115.63まで下落したが、市場予想を大幅に上回った米12月ADP雇用統計やタカ派なFOMC議事要旨を受けて再び116円台に戻した。

本日のドル円は上値の重い動きを予想する。本日も米国では12月ISM非製造業景況指数や11月耐久財受注等の指標の発表が相次ぐ。ただ明日米12月雇用統計の発表を控える中、様子見姿勢が強まり年始来の米金利上昇・ドル円上昇はいったん小休止となりそうだ。また昨日米株が下落したことで日経平均株価が下落するとクロス円の下落に繋がるだろう。ただ長期的に円安基調が変わったわけではなく下値も限定的と考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・小野崎